

Info for Wood Export
海外市場情報



Vol. 2, No.35, 2007

2007年12月14日発行

韓国における木造住宅の認識と直面する課題

1、 韓国の木造住宅における木材の使用量

国立山林科学院が 2004 年に実施した木造建築業に関する林業経営実態調査によると、木造住宅における木材使用量は、13 坪が 23.7 m³、20 坪が 27.3 m³、30 坪が 41.8 m³、そして 40 坪が 59.4 m³に達した。建築面積の広さによるばらつきがあるものの、坪あたりの木材使用量は平均で 1.51 m³ (0.45 m³/m²) であることがわかる (表 1)。

表 1 木造住宅の木材使用量

区分	一戸あたり (m ³)	坪あたり (m ³)
13 坪	23.7	1.82
20 坪	27.3	1.36
30 坪	41.8	1.39
40 坪	59.4	1.48
平均	-	1.51

資料：国立山林科学院「林業経営実体調査-木造建築業」（2004 年）

木造住宅に使われる木材の製品別割合を見ると、構造材が 24.2%、ルバが 14.9%、タルキが 13.5%、デッキが 13.1%となっている (表 2)。

表 2 木造住宅における木材使用量(製品別割合)

区分	構成比 (%)
板材	7.5
構造材	24.2
タルキ	13.5
ルバ	14.9
サイディング	12.6
モールディング	8.5
デッキ	13.1
その他	5.7
合計	100

資料：国立山林科学院「林業経営実体調査-木造建築業」（2004年）

木造建築に使用された木材のうち、国産材が20%、輸入材が80%であることが調査により明らかにされた。また、国産材のうち、モールディングに4.0%、タルキとルバにそれぞれ3.8%と3.6%が使われている。一方、輸入材は構造材に22.0%、デッキ11.9%、ルバとサイディングにそれぞれ11.3%が使われている。

(本稿は大韓民国忠南大学校の金世彬教授、郭昶鎬博士からの原稿に基づき編集した。)